

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立田野浦小学校	校長	神田 秀浩	生徒指導主事	東 英治
-----	------------	----	-------	--------	------

取組事例名 『あいさつ三原一』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協調性・柔軟性」	3	「主体性・積極性」	1	「使命感・高い志」	2

取組のねらい

具体的なあいさつの仕方について示し、評価することで、自分から進んでその場に応じたあいさつができる児童を育成する。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『児童会の主体的活動』
----------	------------------------

昨年度、校区内の小・中学校連携を行い、児童・生徒の実態について情報交換した。そして課題を協議する中で共通して取り組む目標を考え「小・中スタンダード」を作成した。



【小学校・中学校共通の掲示物】

その場に応じたあいさつができる児童の育成に向け、全校朝会で、児童会から「あいさつの仕方やモデル」を示し、小・中スタンダードに掲げている「さきに」「だれにでも」「なんどでも」に合わせ、「会釈」をするあいさつの仕方を紹介した。

1月は「あいさつ名人」を決める際に、地域やPTA役員の方々からも投票していただいた。

1月末で83名のあいさつ名人が選ばれ、表彰状を渡すとともに名札にリボンをつけ「あいさつ名人」の自覚を持たせる意欲づけを行っている。



児童会が全校朝会で紹介した内容を掲示し、あいさつが習慣化するように努めた。また、登校時に地域の方々やPTA役員の方々と共に「あいさつ運動」を行った。

また、毎週火曜日の下校時に児童会が、「さようなら」「明日も元気で会いましょう」などの「あいさつ運動」を行っている。



【あいさつの仕方を職員室前に掲示】



【あいさつ運動】

取組の成果と課題

- ・「あいさつ名人」を目指している児童が増えている。
- ・地域の方々やPTA役員の方々など外部の方からの肯定的な評価を、あいさつ向上に生かすことができた。
- ・その場に応じたあいさつや会釈など、さらに評価していく。
- ・「あいさつ名人」がよいモデルになるよう、活躍する場を設けていく。